

2017



『明治大学の歴史』

(明治大学史資料センター編、DTP出版、2017年10月)

1881(明治14)年に創立した明治大学の歴史を、学生の目線を意識して構成したところに本書の特色がある。Ⅰ部「大学・学部の歴史」では、戦前・戦後の大学の歴史を概観するとともに、現在の10学部創立の経緯と社会的背景について触れる。Ⅱ部「キャンパスと学生生活」は、戦前・戦後の学生生活と現在の4キャンパス誕生にいたる経過とをえがく。Ⅲ部「校友と社会活動」では、各分野での卒業生たちの活躍、校友会と父母会の歴史、震災・戦争と大学などをテーマとする。Ⅳ部「21世紀の明治大学」では、「大綱化」以後の教育・研究・社会連携・グローバル化を取り上げる。現在の明治大学は、一定の社会的評価を得ることができるようになった。本書では、できあがった歴史ばかりではなく、実現されことなく机の奥にしまわれた改革案についても言及する。歴史のなかに埋め込められた英知を掘り起こしてこそ、創立150年に向かう明治大学の未来があるのである。

『明治大学の歴史』目次

Ⅰ 大学・学部の歴史	Ⅱ キャンパスと学生生活	Ⅲ 校友と社会活動	Ⅳ 21世紀の明治大学
1 大学の歴史(戦前)	5 戦前のキャンパス・ライフ	9 校友山脈	13 大綱化と大学改革
2 大学の歴史(戦後)	6 戦後のキャンパス・ライフ	10 校友会・父母会の歴史	14 大学院と研究
3 学部の歴史(戦前)	7 キャンパスの変遷	11 スポーツ・震災・戦争	15 社会連携
4 学部の歴史(戦後)	8 図書館・博物館	12 周年式典と大学史の刊行	16 留学生とグローバル化



2015

『私学の誕生
—明治大学の三人の創立者—』

(明治大学史資料センター編、創英社/三省堂書店、2015年3月)

明治大学を創立した若き3人の法律家の物語。明治大学の機関が初めて刊行した創立者3人の評伝。

明治大学の歴史を編む

今回は明治大学史について書かれた本の歴史を紹介します。最新刊である『明治大学の歴史』については本書83頁の「明大教職員・校友の刊行物案内」もあわせてご覧ください。

明治大学史資料センター所長 山泉 進(法学部教授)
(構成 明治大学史資料センター 阿部 裕樹)

目で見える
明治大学の
歩み #70

明治大学史資料センター

2010・2011

『明治大学小史』

—〈個〉を強くする大学130年—

(明治大学史資料センター編、2010年3月)

『明治大学小史 人物編』

(明治大学史資料センター編、学文社、2011年11月)

創立130周年を記念した『明治大学小史』の姉妹編。明治大学の経営、教育や研究に従事した人物たちとともに、明治大学から育っていった人材の記録。



1986-1994

『明治大学百年史』全4巻

(明治大学、1986～1994年)

創立100周年の記念出版物。

